

予算決算常任委員長報告

平成31年3月19日

今期定例会において、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案18件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る3月11日から15日及び18日に委員会を開催し、担当部局長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

また、15日には、総務、教育民生、産業建設の各分科会においてそれぞれ選定した重点項目について担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

議案第1号「平成31年度三次市一般会計予算（案）」外議案16件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

次に、議案第2号「平成31年度三次市国民健康保険特別会計予算（案）」については、審査の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

初めに、各分科会主査報告の要旨を申し上げます。

総務分科会からは、三次版DMO事業については、市内全域への誘客を図り市全体への経済波及効果を生み出すよう、情報発信や更なる賑わいづくりに取り組まれるとともに、市内観光協会の連携を含め検討を進めること。

広島空港連絡バス運行事業については、利用促進への取組と、利用者の利便性向上の調査研究を進めること。

生活交通確保事業については、相乗りタクシー事業について市民周知を図るとともに交通弱者にとって利用しやすい方法と福祉事業等の連携について検討すること。

教育民生分科会からは、地域包括支援センター運営事業については、高齢者が住み慣れた地域で元気に過ごすため、地域と連携を図り、未設置の地域における地域ケア会議の立ち上げを早急に取り組むこと。

ネウボラみよし事業については、児童虐待防止のため、更なる相談支援体制の

充実に努めること。

こども発達支援センター運営事業については、受入れ児童数や教室数の増加に対応するため、専門職の職員も含め、人員確保・処遇改善に努めること。

産業建設分科会からは、有害鳥獣駆除対策事業については、情報通信技術やジビエの活用について、先進事例の研究に努め今後の施策に反映すること。

有害鳥獣被害対策集落リーダーの養成にあっては、市として積極的に取り組むこと。

空き家対策事業及び老朽危険建物除却促進事業については、地域住民の協力を仰ぐ等、実態の精査に取り組むこと。

次に、分科会主査報告後の全体会の審査において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

議案第1号「平成31年度三次市一般会計予算（案）」については、三次地区拠点施設に係る運営経費の試算額が大幅に増加しており、今後、議会のチェック機能を発揮していくために情報公開を徹底されるとともに、健全な運営に向け一層の努力をされたい。

議案第9号「平成31年度三次市下水道事業会計予算（案）」については、経営の安定化のため、現在事業ごとに異なる使用料の統一も含めた今後の方向性について早急に情報提供されたい。

以上、述べました事項のほか、委員会審査において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後、施策に十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。